



一小学校だより

令和8年1月8日号
日野市立日野第一小学校
校長 小川 真由美
TEL 042-581-0061



伝え合い、分かり合うために

校長 小川 真由美

明けましておめでとうございます。

令和八年が始まりました。本年が皆様にとって、益々幸多き一年となりますことを祈念申し上げます。

三学期が始まり、学校には子供たちの元気な声が戻ってきました。今年度も残すところ三か月ほどになりました。引き続き、子供たちが安心して笑顔や喜びに満ちた学校生活を過ごすことができますよう、教職員一同、気を引き締めて一生懸命努力してまいります。

さて、今年は丙午（ひのえうま）年です。今年の干支である「午」（馬）は群れで生活する動物であるため社会性が高く、他の馬の表情や声から情動を読み取り、円滑な関係を築くことができるそうです。馬は古代より人間とともに暮らし、農耕や荷物の運搬等生活に欠かせない存在でした。日本では遺跡から1500年ほど前から馬を飼育していたようで、馬の形をした埴輪が古墳に納められていたり多くの絵巻物に描かれていたりし、馬が日本人にとって身近な存在であったことが伺われます。

このように古代より馬が人間とのコミュニケーションを深めることができたのは、馬が温厚な性格で、表情やしぐさで感情を表すことができる一方で、人の表情や声のトーンから感情を読み取る能力にも長けていたからです。

人と人との間でも表情や声のトーン等の非言語コミュニケーションは重要です。しかしそれで豊かで円滑な人間関係を築くためには非言語的なサインだけでは不十分で、言葉を効果的に使いこなす必要があります。学校で子供たちを見ていると「言語化する力」によって、コミュニケーション力に大きな差が生じていると感じます。この力は「伝えること」だけでなく、「聞くこと」にも大きく関わっています。価値観が多様化し、共通の基盤が見つけにくくなっている現代社会において、よりよく生きていくためには伝え合い、特に言葉によるコミュニケーションによって考えたり、互いの気持ちを伝えあったりして、互いに理解を深めていくことが欠かせないと言われています。今後子供たちがよりよく生きていくために表情やしぐさだけでなく、きちんと言葉でも自分の気持ちを表すことができるよう指導の充実に努めてまいりたいと思います。

子供たちを取り巻く大人は、子供を育む大事な環境となります。保護者、地域の皆様方の力が環境を維持する大きな支えです。皆様には昨年同様、ご一緒に学校の教育活動に取り組んでいただきますようどうぞよろしくお願ひいたします。

〈学校運営連絡協議会より〉

12月9日（金）第2回の学校運営連絡協議会が開かれました。この学校運営連絡協議会は、家庭や地域と連携、協力して子供たちの健やかな成長を図っていくために、学校外の有識者等、PTA役員の参加を得て、幅広く意見を聞き、必要に応じて助言を求めるこにより、地域に開かれた学校づくりを推進しようとします。今年度は、各学期毎1回の計3回行う予定です。メンバーは、9名の評議員さんと学校側から4名の計13名です。第2回は、日野市教育委員会のご参加をいただき、本校の建替え案についての概要やコミュニティスクールについての情報提供をいただきました。また、評議員さんからは、「どの学年も気持ちが入った演技で素晴らしかった。」「学習発表会を通して、子供たちの成長が伺える。」「学習したことを自分たちの表現方法で表していることが良かった。先生たちの支援を感じる。」等、高い評価をいただきました。